

小牧市民病院ネットワーク構築業務プロポーザル提出書類作成要領

1 全般的な留意事項

- (1) プロポーザルにおいては、参加者から提出された企画提案書に基づき評価を行い、記載内容に応じて採点する。
- (2) 仕様項目は全て必須要件とし、機能を満たした提案を行うこと。
- (3) 当院の要求するネットワークを実現する上での機能や処理方式などについて記載漏れがあった場合、評価が大幅に低くなることがあるので、当院の要求を実現できるソリューションを余すことなく記載すること。
- (4) 契約の段階において、契約の仕様書に受託業者が提出した提案書の内容を盛り込むことがあるので、確実に実現できる範囲かつ提案見積範囲内で記載すること。複数の方式を挙げた場合には、全ての方式が実現可能であるものとみなす。
- (5) 提案見積の外に別途費用を必要とするものは評価対象外であるので、提案書には記載しないこと。
- (6) 提案した方式だけで要求仕様を実現できなかった場合、追加の方式やネットワークの設計構築は受託者の負担で行うこととなる。
- (7) 提出書類の内容について、審査期間中に疑義照会を実施することがある。
- (8) 提案見積書の内容により、企画提案に対する提案及び提案見積書の再提出を求める場合がある。
- (9) 様式は、特に指定のあるものを除き、A4縦長横書き両面印刷で作成すること（図面等は除く）。
- (10) 提出者の欄は、契約に関する権限を有する者を記入すること。
- (11) 正本には、契約に使用する社印、代表者印を押印すること。
- (12) 紙媒体で提出した内容（附属資料は除いても可）を保存したDVD-Rを1部添付すること。なお、ファイルの保存形式はマイクロソフト社のエクセル、ワード又はパワーポイントとする。また、必要に応じてPDF形式のファイルを追加すること。
- (13) プロポーザルに係る文書の作成に用いる言語は日本語とし、通貨は日本円とする。

2 企画提案書作成上の留意事項

- (1) 作成部数は正本 1 部及び副本 1 4 部とし、表紙には様式 6 を使用すること。
- (2) 頁数は、表紙及び目次を除いて 3 0 頁以内とすること。
- (3) 企画提案書記載項目（別紙 1）の「提案記載項目」、「具体的な提案記載内容」に沿って作成すること。

3 従事者導入実績証明書作成上の留意事項

- (1) 作成部数は正本 1 部及び副本 1 4 部とし、表紙には様式 7 を使用し、様式 1 0 - 1 及び様式 1 0 - 2 を添付すること。
- (2) 本業務を担当する者を記載すること。
- (3) 導入実績の欄には、病床数 5 0 0 床以上の病院（国、公的機関、医療法人等の開設者の種類を問わない。）にネットワークを構築し、運用した実績を有する者であること。
- (4) 手持案件の欄には、現在携わっている案件（病床数及びネットワーク構築の規模を問わない。）を記載すること。
- (5) 各項目の記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加すること。
- (6) プロジェクトリーダーを複数人配置する場合は、最も実績数の多い者を記載すること。
- (7) プロジェクトマネージャーとは、ネットワークの構築業務の全体を統括し、進捗会議に必ず出席する者とする。
- (8) プロジェクトリーダーとは、ネットワーク構築の全般を管理し、進捗会議、コア会議、ワーキンググループ等に全て参加する者とする。
- (9) プロジェクトサブリーダーとは、プロジェクトリーダーをサポートする立場で、全体の進捗を把握しながら、一部の分野を担当する者とする。
- (10) プロジェクトメンバーとは、ネットワーク構築の中で、一部の分野を担当する者とする。

4 提案見積書作成上の留意事項

- (1) 作成部数は正本 1 部及び副本 1 4 部とし、表紙には様式 8 を使用し、様式 1 1 - 1 ～様式 1 1 - 6 を添付すること。

なお、正本は袋綴じすること。

- (2) 金額は、円単位並びに消費税及び地方消費税抜きで記載すること。
- (3) 記載内容に矛盾があった場合の判断は、原則として当院が行うものとする。
- (4) 様式 1 1 - 1 ~ 様式 1 1 - 6 について、必要があれば適宜欄を追加して記載すること。
- (5) 様式 1 1 - 1「提案見積(ネットワーク構築費用及び保守費用合計)」について、保守費用を平成 3 1 年 4 月 1 日から平成 3 6 年 3 月 3 1 日までの 5 年間として見積もること。
- (6) 様式 1 1 - 1「提案内訳(年度別費用)」について、ネットワーク構築費用は平成 3 0 年度、ネットワーク保守費用は平成 3 1 年 4 月 1 日から平成 3 6 年 3 月 3 1 日までの 5 年間で年度ごとに計上すること。
- (7) 様式 1 1 - 2「提案内訳(ネットワーク構築費用(SE費用, 工事費用等))」について、ネットワーク構築費用に関わる S E 費、工事費用等を記載すること。
- (8) 様式 1 1 - 3「提案内訳(ハードウェア費用)」について、必要とするハードウェア費用を記載すること。
- (9) 様式 1 1 - 4「提案内訳(ソフトウェア費用等)」について、必要とするソフトウェア費用等を記載すること。
- (10) 様式 1 1 - 5「提案内訳(5年間保守費用(ハードウェア費用))」について、必要とする 5 年間の保守費用(ハードウェア費用)を記載すること。
- (11) 様式 1 1 - 6「提案内訳(5年間保守費用(ソフトウェア費用等))」について、必要とする 5 年間の保守費用(ソフトウェア費用等)を記載すること。

5 附属資料作成上の留意事項

- (1) 作成部数は正本 1 部及び副本 1 4 部とし、表紙には様式 9 を使用すること。また、附属資料一覧を作成し、添付すること。
- (2) パンフレット等は直接評価の対象とはならないが、企画提案書等を評価するにあたって参考とするので、提案に関わるハードウェア等の製品諸元が分かる資料を提出すること。

企画提案書記載項目（別紙1）

提案記載項目		具体的な提案記載内容
1 基本事項		
	(1) 基本方針	ネットワーク構築に際しての提案方針、本業務を遂行していくにあたっての決意や意思、責任のあり方
	(2) ネットワークの構成	全ネットワークの物理構成図・配線図及び、論理構成図
	(3) ネットワークの概要・構築方法	ネットワーク規模の妥当性、ネットワーク機器の性能及び特徴、ネットワークの信頼性・拡張性の確保に対する対応
	(4) セキュリティ対策	物理的対策、技術的対策など
	(5) 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」など関連ガイドラインの遵守業務分担	以下の関連ガイドラインに基づいた具体的な提案 <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システムの安全管理に関するガイドライン ・医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン ・ASP・SaaS における情報セキュリティ対策ガイドライン ・ASP・SaaS 事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン
	(6) テスト、動作確認	<ul style="list-style-type: none"> ・有線・無線LANに係る端末類を用いた接続性確認テスト及び検証方法 ・稼働後にテスト結果が保証されるための提案など
2 業務分担		
	(1) 病院との業務分担	責任分界点、コミュニケーション計画など
	(2) 次期医療情報システム構築ベンダ（富士通株式会社）との業務分担	責任分界点、コミュニケーション計画など
	(3) リハーサル実施内容、考え方及びスケジュール	—

企画提案書記載項目（別紙1）

3 ネットワーク移行		
	(1) 既存建屋の現行ネットワークからの移行方法	ネットワーク停止時間を最小限にするための提案
4 障害対策		
	(1) 障害発生時の障害の局所化対策	障害レベルごとの対策および効果、障害時の復旧対応方法
	(2) 障害発生時の保守・サポート体制について	早急に復旧させるための仕組みとして、障害時に技術者の到達に要する時間、保守拠点、駆け付け時間など
	(3) ネットワーク監視機能	障害発生時のユーザ通知やG U I など
	(4) 遠隔ネットワーク監視手法の提案	基本的な考え方、遠隔ネットワーク監視手法など
5 その他		
	(1) 高速で止まらないネットワークを構築・維持するための提案	物理的対策、技術的対策など
	(2) 切れにくい無線LANを構築・維持するための提案	電波干渉に対する対策など
	(3) 提案ネットワーク機器の特徴	—
	(4) その他アピールポイント	—